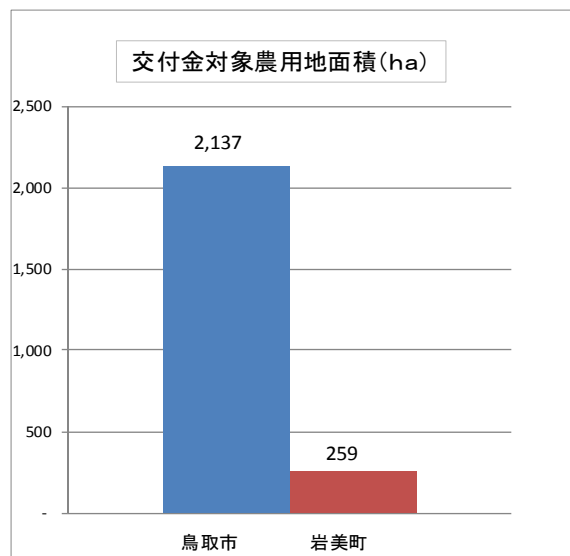
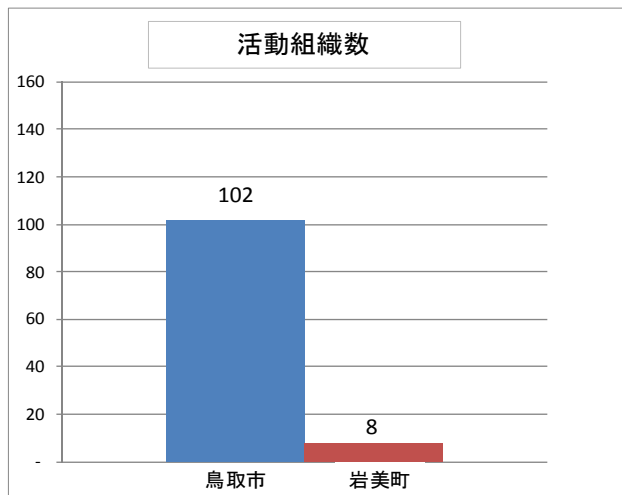


VI 日本型直接支払制度の取り組み概要

1 農地水保全管理支払交付金(共同活動支援)

平成19年度からスタートし、平成25年度において、活動組織数110、共同活動取組面積2,396haで、これは、農振農用地面積の36.6%を占める。(県全体では農振農用地面積の28.7%)

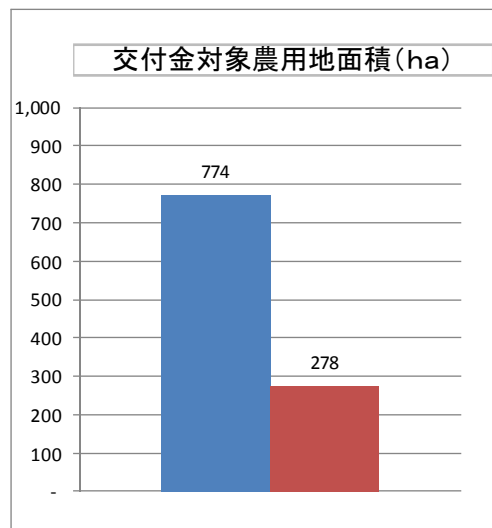
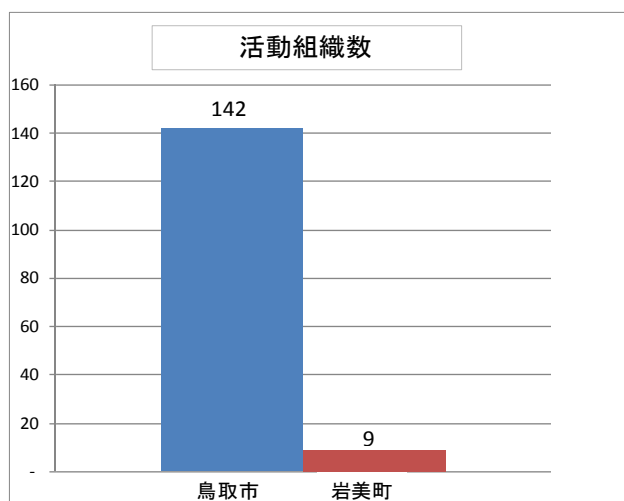


平成25年度 農地・水保全課調べ

なお、農地水保全管理支払交付金(共同活動支援交付金、向上活動支援交付金)は、平成26年度より多面的機能支払(農地維持支払交付金、資源向上支払交付金)に移行しました。

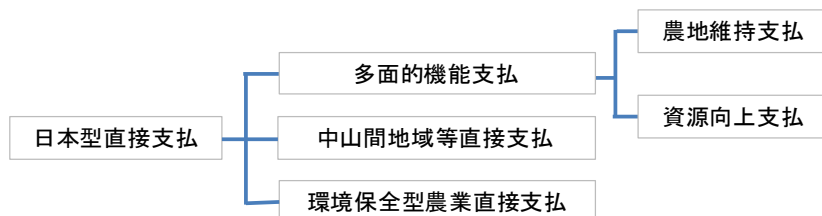
2 中山間地域等直接支払交付金

平成12年からスタートした中山間地域等直接支払交付金は、第3期対策(H22~H26)として実施しており、平成25年度において、活動組織数151、活動組織取組面積1,052haで、これは、農振農用地面積の16.1%を占める。(県全体では農振農用地面積の23.9%)



平成25年度 農地・水保全課調べ

※平成26年度からの制度体系



3 活動事例

番号	市町村名	鳥取市	活動組織名	山宮農地・水・環境保全協議会
農村環境向上活動のテーマ		景観形成・生活環境保全		
平成24年度の実践活動の概要				
基礎部分		農地・水向上活動		農村環境向上活動
道水路の草刈・泥上（5・3月予定）		施設の機能診断及び補修（4月） ゲート保守管理（5月） 獣害防護柵の設置、管理（6月） 異常気象後の点検・応急措置		農業用水の地域用水利用管理 農道脇に花を植栽した（7・10月）
取り組んで よかった点	<p>① 以前は地域住民の中に農業事業等に参加しない非農家があったが、集落全体で農業用水路の泥上げや農道の清掃の行事を定例化し、維持管理活動への非農家の参加を集落全体の行事として継続した。</p> <p>② 非農家が維持管理活動へ参加することで、日頃から話をしなかった住民との交流が始まり、維持管理の大切さを理解してもらうことができた。</p> <p>③ 本対策への取組をきっかけに、活動に地域内の子供会、女性部、老人会などが参加することとなり、除草や植栽ができた。</p> <p>④ 本対策により、以前はほとんどなかったイノシシ被害が、集落全体を防護することにより、継続して被害の低減が図れた。</p>			
今後の 活動への 目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非農家の方や、子供、女性、老人が行事に参加する仕組みができたので、今後も継続させたい。 			
取り組みの中 で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の中で、役員の人選に苦労した。 ・ 活動のとりまとめ役の引き受け手が無く、結果、同じ者が継続して行う事となっている。 			



水路の石泥上げ



地域住民による施設の点検



子供会による用水路など美化啓発活動



電気柵の設置、管理

番号	市町村名	鳥取市	活動組織名	東今在家農地・水・環境保全会
農村環境向上活動のテーマ		景観形成・生活環境保全		
平成22年度の実践活動の概要				
基礎部分		農地・水向上活動		農村環境向上活動
水路の草刈・泥上げ（9月）		砂利道のコンクリート舗装		
取り組んで よかった点	② 非農家が参加して農家と一緒に作業して農家の水路・道路の管理の難しさや重要さがお互いに理解できコミュニケーションが進んだ。			
今後の 活動への 目標等	・ この事業を継続し地区全体で水路・道路の維持・管理が出来るようになると、地区の活性化にもつながると思う。			
取り組みの中 で苦勞した点	・ この事業では作業後の懇親が日当で出来るが事業がなくなれば継続できるか心配である。			



水路の草刈・泥上げ



砂利道のコンクリート舗装



管理道の草刈



水門の点検

番号	市町村名	岩美町	活動組織名	浦富地域資源を守る会
農村環境向上活動のテーマ		景観形成・生活環境保全		
平成23年度の実践活動の概要				
基礎部分		農地・水向上活動		農村環境向上活動
道水路の草刈・泥上（8～10月） 遊休農地保全（8・11月）		施設の機能診断及び補修（8～10月） ゲート保守管理（10月） 異常気象後の点検・応急措置		農業用水の地域用水利用管理（8月） 農道脇に花を植栽したプランターを設置（11月）
取り組んで よかった点	② 共同作業で実施する草刈活動によって農地周りに生い茂っていた草木がなくなり、景観形成活動で実施する花の植栽と併せて、地域の景観が格段に向上した。また、それらの活動によって地域住民とのふれあいが増えた。			
今後の 活動への 目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地を生じさせない体制を構築すること。 ・ 地域の良好な景観を維持するため、農地周りにゴミを捨てさせないような環境をつくること。 			
取り組みの中 で苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同活動に多くの地域住民に参加していただくこと 			



水路の泥上げ



遊休農地発生防止のための保全管理活動



水路の目地詰め



地域住民による農道脇への花植え